

第5回MGC三菱ガス化学アイスアリーナトロフィー「ミニマム取得可能競技会」要項

- 1 主 催 MGC三菱ガス化学アイスアリーナトロフィー実行委員会
- 2 共催・主管 新潟県スケート連盟
- 3 会期・日程 2023年8月18日(金)～20日(日) (参加者少数のため19～20日の2日間に会期短縮)
- 4 会 場 MGC三菱ガス化学アイスアリーナ(新潟市アイスアリーナ)
- 5 競技種目 別紙参照 ※ 選手権クラス・ジュニア選手権クラスは、各クラスのショートプログラム上位12名、フリースケーティングの競技を実施します。
- 6 参加資格 日本スケート連盟競技登録者
 ※ 出場枠を超えた申し込みがあった場合、①県内選手・主催者推薦選手、②東北・北海道ブロック選手、③令和4年近県大会出場選手を順に優先出場とすうえで抽選を行い、出場人数制限をさせていただきます。
- 7 競技規定 ISU規定、及び(公財)日本スケート連盟競技規定、及び下位クラス対応ガイドラインによる。2級クラスについては新潟県スケート連盟独自規定による(詳細は別紙参照)。音楽はCDを使用するものとする。
- 8 表 彰 各クラス、1位～3位にメダル、1位～8位に賞状、選手権クラス優勝者にはトロフィーを授与する。 ※ 競技終了後、準備が整い次第、表彰式を実施予定。
- 9 参加料 銀行振込に限る。振込名は選手名、団体は代表者であること。
 参加料振込後の参加料の返金はいたしません。
 選手権・ジュニア選手権クラス 15,000円
 ノービスA・Bクラス・6・5・4・3級クラス 12,000円
 2級クラス 10,000円 1・初級・無級クラス 8,000円
- 10 振込先 第四北越銀行 新潟支店 普) 2088713
 新潟県フィギュアスケート競技大会 実行委員会 実行委員長 高橋貞雄
- 11 申込方法 「JSFマイページ」 <https://www.skatingjapan.jp/mypage/>から申し込むこと。
- 12 申込期間 2023年7月1日(土)～7月15日(土)
 別紙表のAグループ(選手権・ジュニア選手権クラス)のエントリー合計が80名を超えた場合、またBグループ(ノービスA・B・6・5・4・3級クラス)で100名を超えた場合、Cグループ(2・1・初級・無級クラス)で100名を超えた場合は、それぞれのグループで以下のルールによる参加人数制限を行います。
 (1) 県内選手・主催者推薦選手を優先します(県内・推薦選手優先枠:優先1)。
 (2) 東北・北海道ブロックの選手を優先します(ブロック選手優先枠:優先2)。
 (3) 令和4年新潟近県大会出場選手を優先します(近県大会優先枠:優先3)。
 (4) 各優先枠でグループ定員を超えた場合、超えた優先枠内での抽選によって出場選手を決定します。優先1～3で充足しなかった場合、残りのエントリー

ーから枠内での抽選によって出場選手を決定します。

- (5) グループの出場人数に偏りがある場合は、新潟県スケート連盟フィギュア部により各グループの制限人数を変更する場合があります。

上記抽選後、出場決定選手を7月24日(月)までに発表しますので、参加料は出場決定者のみ、8月4日(金)までにお振込みください。

期限内にお振り込みのない場合は出場をお断りする場合があります。

13 その他

- (1) 要素票は8月14日(月)までにオンラインで入力すること。
- (2) 各自にてスポーツ傷害保険に必ず加入すること。
- (3) 中学生以下の参加は、保護者の同意書(直筆署名、コピー不可)を当日持参すること。既に提出している選手は不要。
- (4) 資格級を確認する場合がありますので、FDテスト級の資格を証明できるものを持参すること。
- (5) 万が一の怪我等に備え健康保険証を持参すること。
- (6) 問合せ先(棄権連絡等): 新潟県スケート連盟フィギュア部長
伝井(つたい) tsutai.itaru@gmail.com
- (7) すべてのクラスの滑走順抽選は、事前に主管連盟の競技役員会で行い、地方大会リザルトページで発表します。選手権・ジュニア選手権クラスのフリーの滑走順は、ショートプログラム順位の逆順とします。

14 大会特別賞

- (1) MGC三菱ガス化学アイスアリーナトロフィー
選手権クラス男子、選手権クラス女子の優勝者には、賞状および「MGC三菱ガス化学アイスアリーナトロフィー」を授与する。
- (2) 新潟県スケート連盟理事長賞
ノービス以上の各クラス男女において、以下に示す基準点(各カテゴリでの昨シーズンの全日本選手権における8位相当点)以上の得点で優勝または1位となった選手には、新潟県スケート連盟理事長賞を授与する。
受賞者には副賞として「燕ブレード」製作権を授与する。製作権は本人が使用する場合に限り、権利の他者譲渡は認めない。2023年9月30日(土)までに希望サイズおよびモデルを申し出ること。
- (3) 燕市フィギュアスケートブレード開発研究会会長賞
ア TES (Total Element Score) 最高得点者賞
イ PCS (Total Program Components Score※係数乗算前) 最高得点者賞
男女を問わず、TES・PCSそれぞれの最高得点者に燕市フィギュアスケートブレード開発研究会会長賞を授与する。
受賞者には副賞として「燕ブレード」製作権を授与する。製作権は本人が使用する場合に限り、権利の他者譲渡は認めない。2023年9月30日(土)までに希望サイズおよびモデルを申し出ること。

ロークラス（無級～2級） 競技課題**別記1** 無級 1分 PCS (CO、PR、SK) ファクター：1.0（全PC共通）転倒：-0.2

a) ジャンプ要素 最大3

ジャンプ・コンビネーション又はシークエンスは不可。

全て異なった種類のもの（回転数が異なっても同じ種類）とする。

b) スピン要素 最大1

1ポジションのスピンの（5回転以上）レベルBで評価する。

別記2 初級 1分 PCS (CO、PR、SK) ファクター：1.2（全PC共通）転倒：-0.2

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを1回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類（回転数が異なっても同じ種類）とする。

b) スピン要素 最大1

1ポジションのスピンのレベルBで評価する。

別記3 1級 1分 PCS (CO、PR、SK) ファクター：1.5（全PC共通）転倒：-0.2

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを1回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類（回転数が異なっても同じ種類）とする。

b) スピン要素 最大1

1ポジションのスピンのレベルBで評価する。

c) ステップ・シークエンス 最大1

レベルBで評価する。

別記4 2級 2分 PCS (CO、PR、SK) ファクター：1.8（全PC共通）転倒：-0.2

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを2回含むことができる（但しシークエンスは1回のみ）。第一ジャンプは異なった4種類を含むこと（回転数が異なっても同じ種類）とする。1つはアクセル型ジャンプでなくてはならない（アクセル型ジャンプは第一ジャンプでなくともよい）。同じ種類のジャンプは2個まで（回転数が異なっても同じ種類）とする。

b) スピン要素 最大2

1つは1ポジションのスピンのレベル判定する。（本大会独自ルール）

1つはスピンのコンビネーションのレベル判定する。（本大会独自ルール）

c) コレオ・シークエンス 最大1（本大会独自ルール）

ロークラス（無級～2級）競技課題に関する明確化

A. ジャンプ

- ・ ロークラス（無級～2級）は、規定されている最大ジャンプ数のうち第一ジャンプが重複したものはそのジャンプの枠すべてが無価値となる。
- ・ 無級・初級クラスは、ワルツジャンプ（1W：SOV 0.3）を認定する。シングルアクセルのダウングレードは無価値であり、ワルツジャンプとは異なる。
- ・ ロークラス（無級～2級）は、プログラムの後半にジャンプを行っても基礎値（SOV）を1.1倍しない。

B. スピン

- ・ すべてのスピンはフライング、足換えは任意。
- ・ 無級～1級クラスのレベルはすべてB（ベーシック）で判定する。
- ・ 2級はレベル判定する。
- ・ すべてのスピンは5回転以上を基本とし、3回転しなければノーレベル。

C. ステップ・シークエンス

- ・ シークエンスの長さは短辺フェンスから短辺フェンスへの長さの1/2以上または長辺フェンスから長辺フェンスへの幅を1回以上活用していれば認定する。
- ・ 上記長さに満たない場合はノーレベル。

D. コレオ・シークエンス

- ・ 明らかにコレオ・シークエンスとわかる、少なくとも2つの異なるムーブメントで構成されていること。

演技中断の減点について

- 10秒を超えるプログラムの中断が起こった場合には、レフェリーはその後10秒毎にジュニアクラス・シニアクラスの競技は1.0、ノービスクラス・ロークラスの競技は0.5を減点する。
- 競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合、上記の中断による減点を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。
レフェリーに40秒以内に中断を要求した場合は、レフェリーは3分間の中断を与える。上記減点はキャンセルされ、中断全体に対しジュニアクラス・シニアクラスの競技は5.0、ノービスクラス・ロークラスの競技は2.5を減点する。

演技開始遅れの減点について

- 競技者はスタートの呼び出しをされてから少なくとも30秒以内に演技開始位置につかなくてはならない。開始地点につくのが30秒を超え60秒以内の場合、1.0を減点する。
- 競技者がスタートの呼び出しをされてから60秒以内に演技開始姿勢をとっていない場合は、棄権となる。

音楽の不調について

- 競技者はスタートから20秒以内に音楽の不調についてレフェリーに申し出れば、最初から再滑走が可能となる。20秒を超えてからの音楽の不調についてはレフェリーに申し出ることにより、不調となった部分から再滑走が可能となる。音楽の不調による再滑走は減点されない。

ウォームアップ時間について

- ウォームアップ時間は無級～2級は4分間、ノービスクラスは5分間、ジュニアクラス、シニアクラスは6分間とする。

ミニマム取得可能競技会について

- 本大会においてISUジュニア課題によって実施するクラスは、今シーズンのブロック大会参加ミニマムポイント取得可能競技会となっている。

【参考】令和5年度ブロック大会参加ミニマムポイント(ショート又はフリー)

ショートプログラム 38点
フリースケーティング 56点